

試料・情報利用研究計画書(概要)					
研究番号	2026-1009	利用形態	共同研究		
研究題目	ゲノム情報などの機微性が高い情報の震災に備えたバックアップの研究		研究期間 (yy/mm/dd)	2026/4/1	2031/3/31
主たる研究機関	東北大学東北メディカル・メガバンク機構		責任者 氏名・職	木下賢吾・副機構長	
分担研究機関	国立遺伝学研究所		責任者 氏名・職	有田正規・教授	
研究目的と意義	ゲノム情報などの機微性が高い情報の震災に備えたバックアップの研究を行います。東北メディカル・メガバンク計画で取得された情報は東北メディカル・メガバンク機構のスーパーコンピュータの中でのみ利用されていますが、万が一火災等が発生した場合にはデータが失われる可能性があります。このような事態を防ぐため、暗号化したデータを物理的に離れた場所に保管します。				
研究計画概要	東北メディカル・メガバンク機構では10万人規模のコホートに参加した全ゲノム情報を取得しています。また、DDBJではNBDC ヒトデータ取り扱いガイドラインのセキュリティレベル TypeI(ハイレベル)に相当する機微性の高い情報をデータバンクとしてプライマリサイトとして収集・管理を行っています。これらの貴重なゲノム情報が今後、大震災などで消失しないように相互にゲノム情報をバックアップとして持ち合うことで対策を行うとともに今後の機微性の高いゲノム情報の耐障害性の高い管理のあり方について研究を行います。				
利用試料・情報	対象： ☒ 地域住民コホート調査☒ 三世代コホート調査☐ 脳とこころの健康調査 ☐ その他 () 調査期間： ☐ ベースライン調査期間☐ 第2段階調査期間☐ 第3段階調査期間☐ 第4段階調査期間☐ アドオン研究 試料： 最大()人分 ☐ DNA☐ 血漿☐ 血清☐ 尿☐ 母乳☐ 単核球☐ EBV不死化細胞☐ 増殖T細胞 ☐ その他の試料 () 情報： 最大(150,000)人分 ☒ 基本情報☒ 調査票情報☐ 家系情報☒ 検体検査情報☐ 特定健康診査情報☒ 生理機能検査情報☐ がん登録情報 ☒ メタボローム解析情報☒ マイクロバイオーム情報☐ 認知・心理検査情報☒ MRI画像解析情報☐ MRI画像情報 ☒ 全ゲノム解析情報（全て）☐ 全ゲノム解析情報（特定領域）☒ SNPアレイ情報（全て）☐ SNPアレイ情報（特定領域） ☐ その他の情報 () ☒ 岩手の試料・情報を使用する				
期待される成果	これらの知見は、機微性が高く共有が容易ではないデータの安全な保管方法の実現に寄与することが期待されます。				
倫理審査等の経過	2024年3月 東北大学東北メディカル・メガバンク機構倫理審査委員会承認				
倫理面、セキュリティ面の配慮	バックアップデータはすべて暗号化されており、データの復元は東北メディカル・メガバンク機構のスーパーコンピュータ上でのみ行います。国立遺伝学研究所では暗号化されたメディアの保管のみを行い、データにはアクセスしません。				
その他特記事項					
（事務局使用欄）	*公開日 2026年7月16日				